

このたび Alpha Contemporary (東京都港区三田 2-13-9 三田東門ビル 8F) は、『日韓同世代新進気鋭による二人展第一弾：鈴木 淳夫 & 河 明求 (Japanese and Korean Contemporary Next vol1. : Atsuo Suzuki & Myoung-goo HA) 』を実施いたします。

本展示は、Alpha Contemporary の開館記念シリーズ Korean Contemporary "Now" and "Next" の二回目の展示です。

Korean Contemporary "Now" では、グローバル アートシーンで活躍している韓国の中堅アーティストによる現在の韓国のアートシーンを、Korean Contemporary "Next" では、日韓の 1970 年代後半～1980 年代生まれの同世代アーティストによる次世代アートシーンを紹介いたします。

今回は、Japanese and Korean "Next" vol.1 として絵画と陶器の分野において、独自のスタイルで作品活動をする日本と韓国の同世代アーティスト 二人を紹介します。

鈴木 淳夫 (日本、b.1977) は、自身の作品を彫る絵画 (Carved Painting) と称し、パネルの上に幾重にもアクリル絵具を塗り重ね、乾燥させてから彫刻刀で彫ることで絵画を作っています。

鈴木絵画は、支持体の上に絵具で線や色を加えて行くのではなく、パネルの上に何層も塗られた絵具を彫ることで行われます。これは、鈴木が「支持体の上に絵具がのっている状態」という絵画と対面した結果、得られた独自の手法です。

鈴木作品を通しては、画面に繰り広げられる様々な図柄の他、削られた絵具の層の一つ一つに当たる光の角度や見る角度により様々な光の表情も楽しむことができます。

河 明求 (ハ・ミヨング/Myoung-goo HA, 韓国 b.1983) は、母国である韓国と日本の持つ土地の記憶を、作品を通して繋げていく表現を展開しています。

‘時間’と‘記憶’は現在の河の制作において、とても重要なテーマになっており、河は、人間の物理的な生命より長く存在しているものについて興味を持っています。河が、ある時代を形態化するために探求する

ものは、昔の宗教用品や芸術作品 などの特殊な目的を持っていた物だけに拘らず、過去の人の痕跡が残っている日用品などその対象は幅広いです。

河は、特定の民族や時代が持っている記憶を、その時代を生きた人々の痕跡から再解釈して、今の時代性や土地の感覚を写し込ませた独自の作品を制作しています。

日韓同世代のアーティスト二人が、それぞれ絵画と陶器の分野で自分の独自のスタイルをどう繰り広げるか、ぜひ近くでご覧ください。

■ 展示概要

- 会期 | 2023年9月15日（金）～10月28日（土）
- 時間 | 12:00～18:00 ※休廊：日、月、祝日
- 会場 | Alpha Contemporary
- 入場 | 無料
- お問い合わせ | infoalphacontemporary@gmail.com
- 特集ページ | <https://www.alpha-contemporary.com/ja/japaneseandkoreancontemporaryvol2>

■ 関連イベント

アーティストトーク（河 明求） & オープニング レセプション

- 日時 | 9月15日（金）18:00～20:00

※どなたでもご参加いただけます。

※展示の観覧は12時から可能です。

- イベントページ | <https://www.alpha-contemporary.com/ja/event230915>

■ Alpha Contemporary（アルファ コンテンポラリー）

Alpha Contemporary は、同時代性に関する独自の視点を持って、国内外のアーティストを日本と世界に向けて紹介いたします。また、作品のみならず、作品の製作プロセスやコンセプト、アーティストからのメッセージをグローバルアートシーンへ共有いたします。

□住所 | 〒108-0073 東京都港区三田 2-13-9 三田東門ビル 8F

□営業時間 | 火曜—土曜 12時—18時 (日、月、祝日 : 休廊)

□ホームページ | <https://www.alpha-contemporary.com/ja>

□Instagram | https://www.instagram.com/alpha_contemporary/